

景観をきれいにできた！ 自分のまちがもっと好きになった！

青森県は、身近な景観を切り口に
普段見慣れた風景のなかに隠れているふるさとの魅力に気づくこと、
子どもたちが自分たちで感じて、考えて、
自分のまちにこれまで以上に興味を持つこと、などによって
まちに愛着や誇りを持つ心を育むことを目的とした
景観学習教室を実施しています。

景観とは？

風景などの眺めだけではありません。
物理的なものの眺め（景）を
人が感じること（観）によって成立します。

景観学習とは？

見慣れた地域の風景をあらためて見て
子どもたちが「あれ？」「わぁ！」と感じるものを見つけ
興味を持ち、様々なことに気が付くことで
感性を養うことができます。

さらに

- 自分で調べ考える力
 - それを表現する力
- を身に付けることが期待できる学習です。

景観学習教室とは？

感性が豊かで物事を認識する力が付いてくる
小学3年生から6年生を対象に
県の景観アドバイザーが講師となり
景観学習を行う出前授業です。

景観学習 の ススメ

CONTENTS

- 04 景観学習を行う先生へ
- 06 景観学習教室の進め方
- 08 景観学習教室の事例
- 13 景観アドバイザー紹介
- 14 景観学習教室の体験談
- 16 景観学習教室実施までの流れ
- 18 申込書・実施計画書の記入例
- 20 青森県 景観学習への取り組み



まち歩きの中で、普段は気に留めないマンホールの図柄に興味を示しました。さて、これは景観？ そもそも景観って？ 知っているようで案外きちんと答えられない「景観」について考えてみましょう。

景観学習を行う先生へ

そもそも、「景観」って何でしょう？

景観とは

景観とは、単なる物理的な眺めではありません。対象となる風景や景色(景)があり、それを見る人が感じること(観)で成立します。

景観の感じ方は 人それぞれ

同じ風景を見ても感じ方は人それぞれです。皆さんは右の写真を見てどのように感じるでしょうか？ また、子どもたちはどのように感じているでしょうか？



川の中州



木造駅

景観は 場面 によって変わります

同じ場所の風景を見ても、時間や季節、見る場所などによって景観は変わります。右の写真は同じ場所ですが、皆さんの感じ方(観)が変わっているのではないのでしょうか？



きれい! (秋の城ヶ倉大橋)



寒そう... (冬の城ヶ倉大橋)

景観は 身近な場所 にも

子どもたちの通学路など身近な場所も、あらためて見てみればさまざまな景観があります。いつも誰かが元気に遊んでいる公園、広大な田園風景、列車の走る心地よい音、パン屋さんからのいい匂い...など、探していけばきっとまちへの愛着が深まることでしょう。五感や心で感じる事も景観です。



田んぼの中を走る列車

景観の 構成要素

景観は、自然、歴史・文化、くらしが重なり合う地域の特性を映し出した「鏡」です。

- 例えば 風間浦村では
- 自然 海成段丘一気候変動に伴う海面の高さ変動と大地の隆起によりできたもの。
- 歴史・文化 下風呂温泉一室町時代からの湯治場。
- くらし 下風呂漁港一まちのくらしを支える漁業。



風間浦村 下風呂漁港から

景観は自分たちでも 変えられる

ごみを拾う事、花を植える事、まちで景観を損ねていると感じる壊れた看板などを自治体に相談する事...など。自分たちで景観について考え良くすることは、まちに、より愛着を感じ誇りを持つことに繋がると期待されます。



使わなくなった校庭を花いっぱいにするための種まき

子どもたちと学ぶという観点で

児童と一緒にまちに出て、さまざまな景観を探してみませんか

景観学習の授業で活用できる「景観学習の副読本」を用意しています →



事前打ち合わせ

景観学習教室実施の前に、小学校、県、景観アドバイザーで、当日に向けての準備や詳細についての打ち合わせを行います。

問い合わせ・申し込み

- 実施希望申込書の提出
- 景観アドバイザーの決定
- 景観学習教室日程の決定 など

小学校 県

初回打ち合わせ

- まち歩きコースの選定
- 参加人数、班分けの確認
- 実施計画書の作成 など

小学校 県

景観
アドバイザー

事前打ち合わせ

- 当日のタイムスケジュール
- まち歩きの詳細ルート
- 雨天時、緊急時の対応 など

小学校 県

景観
アドバイザー

景観学習教室

景観学習教室が2回以上ある場合は、それぞれの当日前に再度事前打ち合わせを行います。

1

講義

景観アドバイザーが景観について講義を行います。講義では「見る」ことから「観る」ことなどを学び、まち歩きへ繋がります。



景観について分かりやすく学びます。

Point

「景観」ってなんだろう？
景観の感じ方は人によって違う？
五感で感じる景観？

2

まち歩き

通学路など普段見慣れた身近な景観にあらためて注目させ、まちを構成する要素や面白さに関心を持たせます。



実際にまちの景観を探しに出かけます。

Point

見慣れたまちでもあらためて見てみると、新たな発見があります。目に見えるものだけでなく、音(川や電車など)や匂い(花やお店から)などからも感じさせましょう！

- まちを歩いて、好きな景観、嫌いな景観、気になる景観などを自由に写真におさめます。
- 気になったことがあれば、まちの人にインタビューして記録します。

3

調査・まとめ

まち歩きで見つけた好きな景観や嫌いな景観、気になる景観などを、グループ内の友達と一緒に調べ、意見を交わします。



調査・まとめの仕方

調査・まとめはいろいろな方法があります。

● 景観地図

まち歩きで見つけた景観の写真を地図上に載せ、その理由を書くことにより、自分たちのまちには素敵な景観がたくさんあることに気がきます。



● 景観新聞

まち歩きで見つけた景観の写真を載せ、好きな所や気になった所などを書くことで、まちについて更に関心が深まります。



● 景観かるた

まち歩きで見つけた好きな景観などをもとにかるたを作ることで、景観の要素はたくさんあることを楽しく学習できます。



Point

協力して物事を進めることで景観への理解を深めるとともに、自分たちのまちへの愛着心の向上が期待できます。

4

発表

景観学習教室で学んだこと、考えたこと、やってみたことなどをまとめ、整理した成果を発表してもらいます。

発表の仕方

発表は主に次の方法があります。



グループごとにクラスで発表



参観日や学習発表会で発表



会場を借りてまちの人にも発表

Point

これまでの成果を発表することで、整理して話すこと、人前で話すこと、また友達の発表を聞くことなど、コミュニケーション力やプレゼン力の向上も期待できます。

過去の発表事例をwebで公開しています →



講義・まち歩きのと、自分たちにできることについて話し合い、景観改善ワークショップを行うことにしました。
地域の方にも知ってもらえるように、発表は公民館で行いました。

開催年度	令和5年度
開催日	6/26, 7/14, 9/25 (全3回)
学年/人数	2～6年生 / 10名
景観アドバイザー	北原啓司氏 弘前大学特任教授

打ち合わせで話し合われた内容

担当教員からの要望

景観を通して、脇野沢のヒト・コト・モノのよさに気付き、自分たちができるまち育てについて考え、地域や学校全体に提案することをねらいとした。

担当教員の協力

- ルートの事前選定
- 塗料以外の色塗りに必要な物品(雑巾やバケツ等)の準備
- 発表会に向けて、地域住民への参加呼びかけ
- 発表会用チラシの作成

県都市計画課の対応

- モニュメントの管理者に連絡し、色塗りをしたい旨の説明と許可取り
- 色塗り塗料等の準備
- 発表会会場の使用許可申請

講義・まち歩き (1日目) DAY 6/26

景観アドバイザーの講義を聞き景観の知識を身に付けたあと、まち歩きに出かけました。「海方面」、「旧校舎方面」に分かれ、あらためて自分のまちの「好きな景観」、「嫌いな景観」、「気になる景観」などを撮影し、教室へ戻ったあとは各自でまとめそれぞれ自分の意見を話し合いました。



景観アドバイザーの講義に聞き入る様子



まち歩き (海方面)



まち歩き (旧校舎方面)



パソコンを使って写真を選定



みんなの前で意見発表

景観改善 (2日目) DAY 7/14

まち歩きで、漁港に設置されている貝殻のモニュメントの色が落ちてきており、見た目が良くないという意見がありました。これを自分たちで変えようと、みんなで貝殻に色を塗る景観改善のワークショップを行いました。



色落ちした貝殻のモニュメントに着色し飾り付けてキレイに

発表会 (3日目) DAY 9/25

学校関係者のほか、地域の方にも声を掛け公民館で「発表会」を行いました。景観学習教室で学んだこと、自分たちでまちの景観改善を行ったことなどを大勢の方の前で発表しました。



景観学習教室成果の展示



発表会場

むつ市立脇野沢小学校 景観学習教室の記録

- 申し込み
- 初回打ち合わせ
- 事前打ち合わせ
- 景観について予習授業
- ルートの事前選定
- 6/26 ● 講義 25分 (9:15～9:40)
- まち歩き 80分 (9:40～11:00)
- 整理・発表 60分 (11:00～12:00)
- 事前打ち合わせ
児童達の発表を受けて、景観改善のワークショップについて協議しました。
- 小学校独自の活動①
より理解を深める授業をしました。
- 7/14 ● 景観改善に必要な塗料以外の準備
- 景観改善 90分 (10:30～12:00)
- 事前打ち合わせ
- 小学校独自の活動②
景観改善したことを知ってもらう為に地域の方にも発表を見ってもらうことに。参加を呼びかける発表会用チラシを作成しました。
- 9/25 ● 発表会 40分 (11:20～12:00)
- 感想文を書く



開催年度	令和4年度
開催日	9/27(全1回)
学年/人数	4年生 / 39名
景観アドバイザー	石澤暁夫氏 株式会社エーアイサイン

半日で講義・まち歩き・とりまとめ・発表を行いました。
短い時間でしたが、自分のまちの好きな所などを見つけ、自分たちでできる事を考えました。

打ち合わせで
話し合われた内容

担当教員からの質問

まち歩きの数について、児童が39人と多く、1班で歩くと全員が同じ題材の景観に集中してしまわないか？

景観アドバイザーの提案

- 一つの景観に対して全児童が同じ感想を持つことはなく、人によって異なる見え方をしていることに気付くことが大切
- まち歩きルートについては、先生の意見から、子どもたちの足と集中力を考えれば徒歩15分圏が良いのではないか

担当教員の協力

- 候補となるルートを検討し、どの辺りまで行くべきか、事前に現地を確認をした

講義・まち歩き

DAY
9/27

景観アドバイザーの講義を聞き「景観」の知識を身に付けたあと、39人を8班に分けて事前に選定した1つのルートをまち歩きしました。ルートが1つでしたが気になったものはそれぞれ違ったようで、あらためて自分のまちの「好きな景観」「嫌いな景観」「気になる景観」などを撮影しました。



講義を行う景観アドバイザー



講義を真剣に聞く児童たち



小学校周辺をまち歩きしながら気になるものを撮影する様子



お花が気になったのかな



良い写真を撮るためにみんなで相談

とりまとめ・発表

DAY
9/27

教室へ戻ったあとは、撮影した写真を各自まとめ、整理をみんなで行いました。このあと、好きな景観や直したい景観など、整理した内容についてクラスで発表を行いました。



撮影した写真を見ながら発表する内容を話し合う様子



みんなの前で写真を写しながら発表

平川市立金田小学校
景観学習教室の記録

- 申し込み
- 初回打ち合わせ
- 事前打ち合わせ
- 景観について予習授業
- ルートの事前選定

小学校独自の活動
多人数での移動になるので、ルートに問題がないか事前に現地を確認しました。



- 講義 30分(9:30~10:00)
- まち歩き 70分(10:00~11:10)
- 整理・発表 50分(11:10~12:00)

- 感想文を書く

9/27

開催年度	令和6年度
開催日	9/17(全1回)
学年/人数	3年生 / 40名
景観アドバイザー	河村信治氏 八戸工業高等専門学校教授

1コマという短い時間で景観学習教室を行うために
事前に写真を撮ってきてもらい講義を行いました。

打ち合わせで 話し合われた内容

担当教員からの要望

児童に「三戸町の良いところは何か?」の問いかけに対して、児童から答えが返ってこない。景観学習を通して児童が町に対して関心を持ち意識を向けるきっかけにしたい。ただし授業は45分間の授業しか確保できないため、講義のみを希望。

景観アドバイザーの提案

児童に事前に身近な気になるもの・景観の写真を撮ってきてもらい、授業内での対話を通して、児童の気持ちや感性の言語化を試みる。景観の視点で、自分の落ち着く場所や居心地の良い場所の理由を自ら整理することで自分の住む町の魅力に気付きを与える。

担当教員の協力

写真を1人3枚撮ってくる課題を、夏休みの宿題として出す

- 自分のものではないもの
- 景色や場所であること
- みんなが見られるもの

講義のみ DAY 9/17

児童に「好きな景観」や「気になる景観」などを事前に撮ってきてもらい、「なぜそれを選んだか」を聞きとり意見を出し合ってもらうことで、どの景観にも思い出や人とのつながりがあるということや町の魅力に気付いてもらいました。

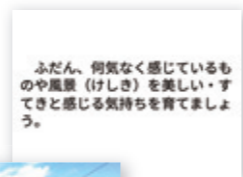


景観アドバイザーから、子どもたちが撮影した景観の好きな理由や気になる理由について質問

三戸町立三戸小学校 景観学習教室の記録

- 申し込み
- 初回打ち合わせ
- 小学校独自の活動
景観について予習授業の上
夏休みに1人3枚写真を撮って
くる課題を宿題として出しました。
- 事前打ち合わせ
児童が撮影した写真を整理し
授業で使う写真を事前に選定しました。
- 9/17 講義 45分(10:30~11:15)
- 感想文を書く

予習授業で使用したスライド



子どもたちが事前に撮ってきた写真



景観アドバイザー紹介

さまざまな専門分野のプロフェッショナルが
景観学習教室の「講師」として
みなさんの学校に出張します。

まちづくり

きたはら けいじ
北原啓司

弘前大学教育学部
特任教授

小学校の先生方は、けては景観学習の専門家ではありませんよね。自分が何を教えればいんだらうと惑われていると思います。青森県が改訂版を制作した景観副読本を、先生自らがじっくり学んでみてください。児童たちは、きっとそれについて行くはずですよ。もしかしたら、感性豊かな児童たちに追い越されるかもしれません。そんなスリルを楽しみながら、景観学習の扉を開いてみませんか!?



デザイン・広告

いしざわ あけお
石澤暁夫

株式会社 エーアイサイン

(株)エーアイサインを設立し、屋外広告やサイン設計、公共モニュメントなどを手がけるデザイナー。「岩木山百景」シリーズを制作し、展覧会を多数開催し、風景と感性を融合した表現でまちの魅力を発信しています。



環境デザイン

みやこし なおゆき
宮腰直幸

八戸工業大学感性デザイン学部 教授

子どもたちの認知科学的な理解に基づき、学びを深める教材や道具のデザイン、および使いやすく快適な学習環境づくりに関する研究を行っています。デジタル技術と人の心地よさを調和させ、すべての子どもが好奇心を持って学べる環境づくりを目指しています。



まちづくり

かわむら しんじ
河村信治

八戸工業高等専門学校 名誉教授

都市科学を専門とするまちづくりの研究者。市民参加型のまちづくりや地域資源の活用を通じ、環境教育や復興支援にも取り組み、地域住民の意識向上と地域の魅力あるまちづくりに貢献しています。



建築

ふると ちかこ
古戸睦子

一級建築士事務所 ふるとちかこ建築設計室 代表

一級建築士として住宅設計や歴史的建築の改修に取り組み、地域の風景と暮らに寄り添う景観づくりを実践。暮らしの中から生まれる「居心地の良い景観」を大切に、地域らしさと現代性の調和を目指して活動しています。



土木デザイン

せき ふみお
関文夫

日本大学理工学部 教授

土木施設と自然環境を融合したデザインを展開し、国内外で、橋梁、道路、河川、公園、スポーツ施設など地域に根ざした美しい土木空間の創造に取り組むほか、小中学生とまちづくりやインフラ見学に貢献しています。



建築・空き家活用

こがわ まさとし
古川正敏

合同会社ゲンジャーキ 代表

黒石市のこみせ通りの角にある空き店舗であった建物をリノベーションし、地域のコミュニティスペース「Circleこみせ」として運営。住民や自治体と連携した景観づくりやワークショップを実施し、持続可能な豊かなまちづくりに貢献しています。



まちづくり

たかもり
高森えりか

有限会社 高森量工店 取締役

八戸が大好きな畳屋の娘として、市民ボランティア団体「八戸せんべい汁研究所」の事務局として市内外で八戸の魅力の発信や、館鼻岸壁朝市のキャラクター「イカドン」の運営をするチーム「イカドンファミリー」として、景観を作り・守る活動をしています。





令和5年度実施
佐藤香奈子先生
むつ市立脇野沢小学校
(当時)

景観学習に取り組んだきっかけ

学校教育目標に「地域を想う児童」があり、まちと繋がる経験をすることでまちへの愛着を育み、将来自分のまちを自分たちで育てられる人材を育成できるのではと考えて応募しました。

「まち」での学びを「まち」のみんなで支える

まち歩きで見つけた景観をタブレットの思考ツールを用いて整理し、直したい景観と気になる景観に焦点を当てました。直したい景観はDIY大作戦を執行し、気になる景観は地域の人達にインタビューしました。まちのよさや課題に対する提案をまとめていく中で、「自分たちの提案を地域の人に伝えたい。」という児童の考えから、まちなか発表会を開催することにしました。児童の想いを形にするために、弘前大学の北原教授や行政機関、地域の方々に支えていただきながら、司会や受付、発表スライド、提案CM、ポスター、来賓の誘導、飾り等、児童主体で進めました。発表会当日は、むつ市長をはじめたくさんの地域の方々が駆け付けてくださり、大盛況となりました。「できた!」という達成感は児童の自信に繋がったと思います。

未来へ繋がる人づくり

自分の目で観て、考え、行動し、地域に想いを発信する過程を大切にしたらこそ、「景観は自分たちで育てられる。」「人は宝だ。」というまとめに辿り着きました。まちや人と向き合った経験は、地域への愛着形成に繋がると思います。景観学習を経験した子どもたちが将来まち育て人として地域のために活躍してくれることを心から願っています。

「多様性を認める」

景観学習教室出前授業前に、児童には「気になる風景」ということをテーマに写真を撮ってくることを課題としました。本校の地域では、桜の名所「城山」、馬場のぼるさんの「11ぴきのねこ」の石像といったものに注目するであろうことが予想されました。しかし、児童の集めてきた風景は、「自宅の庭」「公園」「帰り道の田んぼ」「夕焼け」「近くの川」「バスケットゴール」「花壇」「家庭菜園」「いつもいくお店」「城山に続く階段」など実に多様でした。大人の思う風景とは違う魅力を感じている児童の反応に驚きを感じました。その感じ方の違いを教員だけでなく、児童同士でも認めることができた活動でした。

「風景に表れる心のつながり」

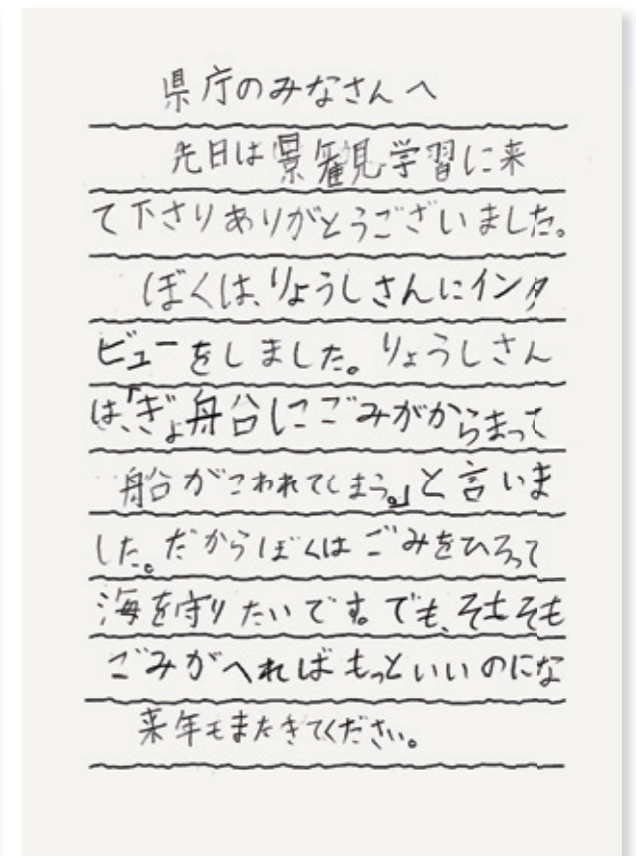
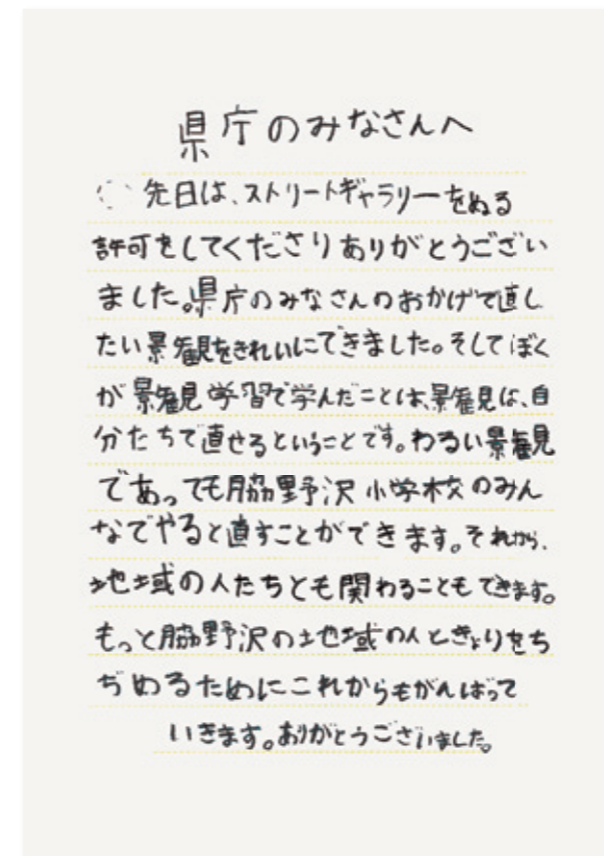
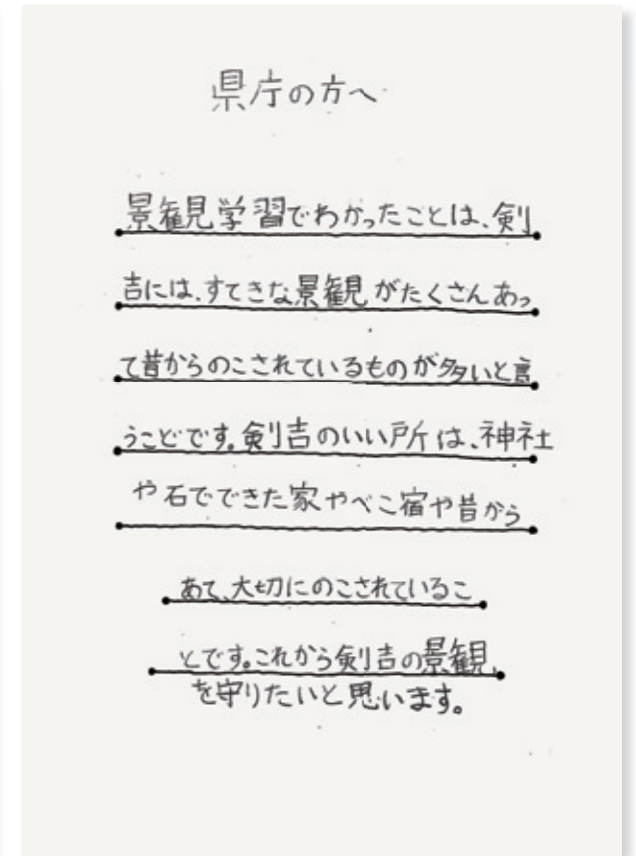
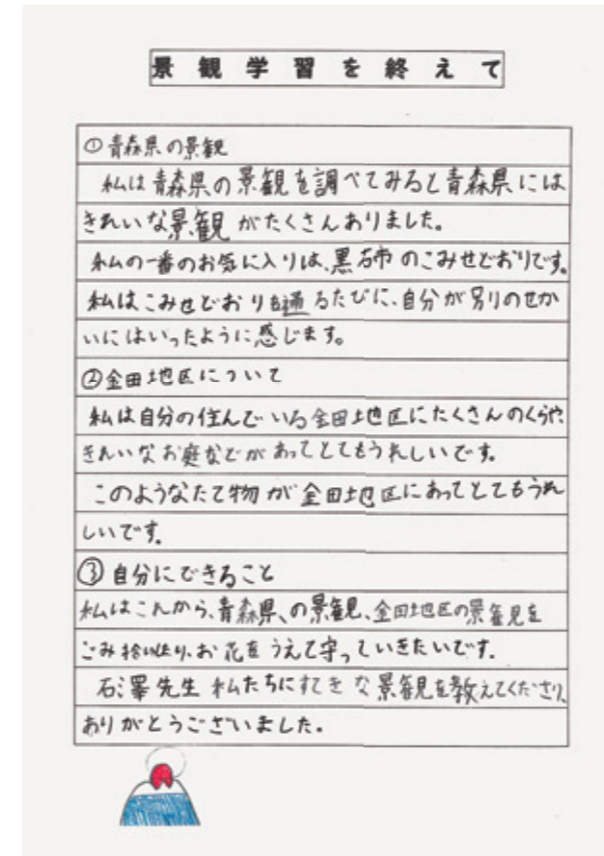
出前授業当日は、講師の先生から選んできた風景についてコメントをいただきました。その後に一人一人になぜその風景を選んだのか、理由を発表する活動を行いました。「友達と一緒に笑顔で会話しながら帰る帰り道」「おうちの人と一緒に魚つりをした川」「友達と一緒に登った遠足での階段」「おばあちゃんが一生懸命世話をしている花や野菜」など、どの風景にも、こどもなりの思い出や人とのつながりが感じられました。「美しい」という風景よりも「心のつながり」が表れていました。

出前授業の後には、景観を守るための努力や工夫として、冊子を活用しました。景観を作る・守る努力をしている身近な人々に思いを向け、自分たちにもできることはないかと、考えることができました。この活動が景観を守るということだけでなく、郷土を愛する心の育成につながってくれることを願っています。

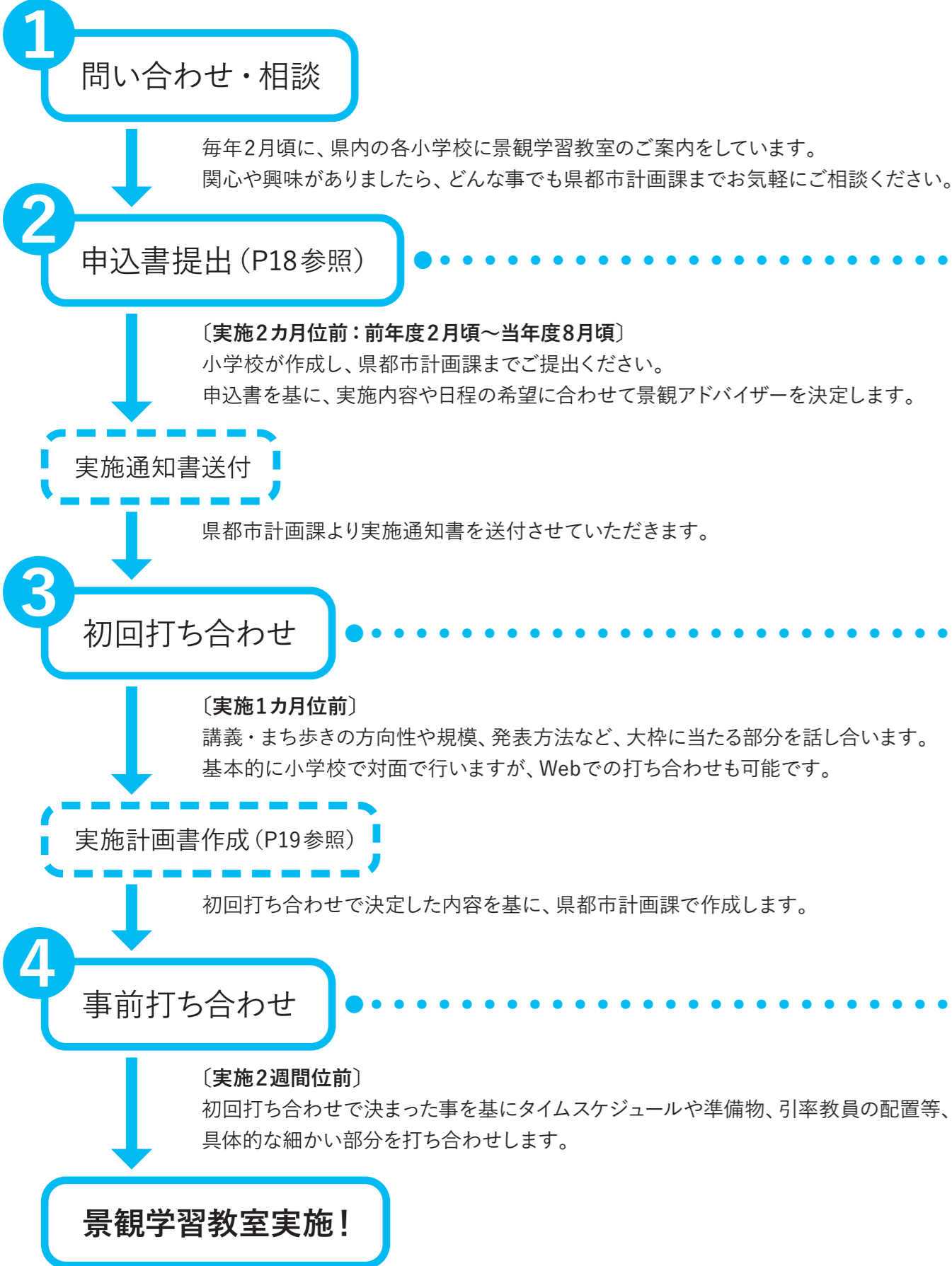


令和6年度実施
渡辺陽子先生
三戸町立三戸小学校

景観学習教室のあと、児童たちに感想を書いてもらいました。自分のまちの魅力をあらためて知る事や、まちの景観について考えることができました。



景観学習教室 実施の流れ



アドバイザー決定について

小学校 県

申込書に記載された学年やクラス数、児童数、希望日時、希望する学習内容(郷土学習・まちづくりなど)を基に、景観アドバイザーをマッチングします。ご希望のアドバイザーが決まっている場合は申込書に記載するか、事前にお伝えください。ご希望のアドバイザーと日程が折り合わない場合は、日程を変更いただくか、別のアドバイザーにて再調整いたします。

初回打ち合わせ

小学校 県

景観
アドバイザー

学習内容にあったまち歩きルートを選定、講義・まち歩き・発表の時間配分や児童の班分けなど、ご希望をお伺いした上で、講師からのアドバイスを交えながら大まかな流れを決定していきます。また、県でご用意出来るものもありますが、小学校で事前にご用意いただく物の確認や、参加予定の引率教員・県随行職員の人数などもご相談させていただきます。

事前打ち合わせ

小学校 県

景観
アドバイザー

当日のタイムスケジュールやまち歩きの詳細ルート、班編制や引率教員・県随行職員の役割分担、それぞれが担当する準備物の最終確認、雨天時・緊急時の対応、発表の仕方など、具体的な細かい部分を打ち合わせします。

※景観学習教室が2回以上になる場合は、それぞれの2週間位前に再度、事前打ち合わせを行います。

必要に応じて電話やメールでのやりとりや打ち合わせを行う場合もあります。

学校で準備していただく物

講義にて講師の説明資料を映したり、発表を行う際のデジタルボード、プロジェクター・スクリーンや、まち歩きの際に写真撮影に必要なタブレットまたはデジカメ、発表の為に必要な制作用品など、必要に応じてご用意ください。



県で準備するもの 貸し出し・ご用意が可能なもの

講義で使用する景観学習冊子(副読本)は、県都市計画課にてご用意します。講義・発表用のプロジェクターや、まち歩きに必要なデジタルカメラは数に限りはありますが貸し出しすることもできます。また、発表に景観地図や景観新聞を作成する場合には、使用する大判の用紙やペンもご用意できます。必要に応じて可能な限りご用意しますのでご相談ください。



発表について

発表を地域の方などにも聞いてもらう場合など校外の会場を利用する際は、ご相談の上、県で用意できる場合もあります。

申込書：記入例

お問合せ後、小学校で作成し提出してください。

小学校記入

【宛先】青森県県土整備部都市計画課 都市計画・景観グループ 御中
keikan@pref.aomori.lg.jp
FAX017-734-8196

「景観学習教室」実施希望申込書

令和〇年 4月 18日

青森県県土整備部都市計画課長 殿

学校名 あおもり県立あおもり小学校

担当者職・氏名 教諭・青森 景子

TEL 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

E-mail : 〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇〇

1	学年・クラス数 児童数	4年生 25名 (内特別支援学級児1名)
2	対象教科	総合的な学習の時間
3	派遣希望 回数・時期	希望回数【3回】 初回の授業希望日時 第1希望 6月15日(月) 2~4時間目 (9:00~12:00) 第2希望 7月 9日(金) 3~4時間目 (10:30~12:00) 第3希望 9月 3日(月) 4時間目 (11:20~12:00) ※希望講師：〇〇〇〇〇
4	屋外観察希望	なし・校内(校庭等)観察・ <u>校外観察</u>
5	学習内容希望 (複数回答可)	郷土学習・ <u>まちづくり</u> ・地域美化・環境・市町村外の学習 その他(<u>樹木とその歴史について</u>)
6	その他要望等 ※取り上げて欲しい 具体的なテーマ等が あればお書きください。 単元のめあてや、 前後の授業で取り上 げる内容等も書いて いただくとそれを 反映した授業にする ことができます。	第1回 まちを知る 講義→まち歩き(タブレットで撮影) ※教員人数が少ないので、県庁の方や市役所の方も指導者 としてご協力していただくと幸いです。 第2回 まちを客観的に捉え、自分たちができること、知ら せたいことを調べ、まとめる。 第3回 発表会 今までの学習の振り返り→発表→講評

実施計画書：記入例

事前打ち合わせ後、県で作成いたします。

県記入

景観学習教室 実施計画表

実施校	あおもり小学校	住所	〇〇市〇〇町・・・
開催日	令和 年6月15日(1日目)	時間	9時00分~12時00分
担当教諭	青森 景子	人数	4年生25人(うち特別支援学級児童1人)
TEL	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇	メール	〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇〇

講師等	名前	到着時間等
派遣講師	〇〇 〇〇〇	〇〇市役所同行 〇〇小学校〇〇着 〇〇発
県庁随行	〇〇主幹、〇〇技師	県庁から 〇〇小学校〇〇着 〇〇発
〇〇市随行	〇〇主査	〇〇市役所から 〇〇小学校〇〇着 〇〇発

準備

担当	準備物	部数	備考
県	景観学習副読本	〇部	児童〇〇部+講師〇部、教諭〇部
〇〇小学校	大型ディスプレイ	〇台	
〇〇小学校	ノートPC	〇台	

タイムスケジュール案

所要時間	タイムスケジュール	実施事項
	9:00	〇〇小学校集合
15分	9:00~9:15	学校側挨拶・準備
45分	9:15~10:00	講義(副読本)
5分	10:00~10:05	外へ移動
75分	10:05~11:20	まち歩き(〇人×〇班)
5分	10:20~11:25	教室へ移動
35分	11:25~12:00	まとめ・発表(まとめは小学校PC各自で使用)

青森県は景観学習教室を推進しています。

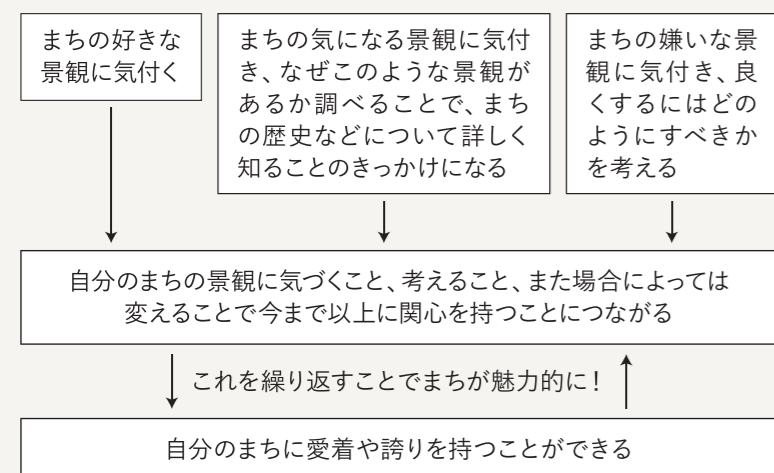
青森県の景観学習

明日の青森県を担う子どもたちにふるさとの美しい景観を守り、つくっていくことの大切さを学んでもらうため、景観アドバイザーを講師として学校へ派遣し、景観に関する体験型の授業を行う「出前授業」です。

景観学習教室は児童の景観に対する関心と良好な景観形成への意識を育むことを目的としており、小学3年生から6年生を対象として、平成14年度から開催し、多くの児童が参加しています。講師派遣を含めて景観学習教室に必要なものは県都市計画課でも準備するため小学校側の予算の負担がほぼなく実施可能です。

なぜ、景観学習教室か？

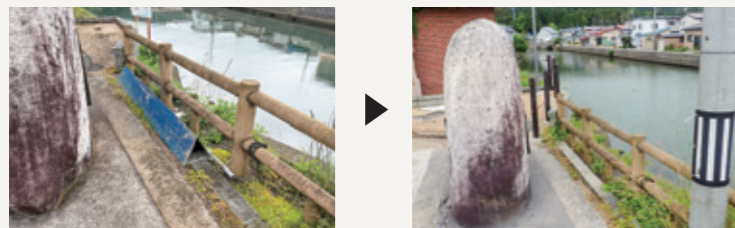
子どものころから身近なまちや良好な「景観」に対する関心を持たせ、ひとりひとりの景観やまちづくりに対する意識を高めることが、愛着や誇りを持つことのできる美しいまちをつくること、育てること、次の世代へと伝えていくことに繋がります。



景観学習教室での景観改善の事例

この景観を変えたい！

景観学習教室の「まち歩き」で川沿いの看板が古くて見た目が良くない…との意見を受け、後日、県都市計画課から看板の管理者に事情を伝えたと、速やかに撤去してもらい、景観改善となった事例です。



川沿いの看板が古くなって見た目が悪い！使わない看板が放置されている！古い看板と放置された看板を撤去！

景観をきれいにできた！自分のまちがもっと好きになった！

講義



景観は「景色」を「観る」こと？

まち歩き



この景観はちょっと嫌！こんな景色があったんだ！

まとめ



まちには、こんなにいい景観があったんだ！

発表



〇〇の景観が良かった！

景観学習教室は身近な景観を切り口に普段見慣れた風景のなかに隠れている、ふるさとの魅力に気づくこと、自分たちで見て、感じて、考えて、自分のまちにこれまで以上に関心を持つことで、自分のまちに愛着や誇りを持つ心を育むことを目標としています。

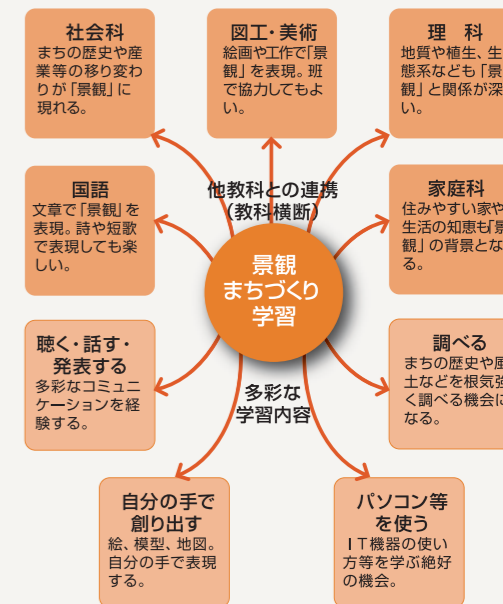
国も「景観学習」を推進しています。

国土交通省

景観まちづくり学習は、調べ、考え、表現する活動が中心となり、総合的学習の時間における取組としてピッタリな広がりや深みのある学習で、さらに総合的学習の時間で取り組む題材としてだけでなく、他の教科と組み合わせることもできます。

各教科等の学習を総合的に結びつけながら展開できる教科横断的な学習です！

- ・景観まちづくり学習は、「総合的な学習の時間」で取り組む題材としてだけでなく、他の教科等の学習と組み合わせることもできます。
- ・例えば、社会科の地域調べや歴史学習、国語の表現、図工の表現などと関係づけながら、まちの景観を調べたり、景観の印象や感じた価値を詩のように表現したり、気に入った景観を写生したり、心に描く将来のまちの模型をつくらしたりしながら、景観まちづくり学習を進めることができます。
- ・また、まちの人たちの話を聞きながら学習を進める中で、相手を敬う態度を身につけたり、多彩なコミュニケーション能力を育むことも期待できるでしょう。パソコン等を使って学習の成果をとりまとめることも考えられますし、地域の人たちの前で発表会などを行えば、地域社会の一員としての自覚を養うのに役立つでしょう。
- ・このように、各教科の学習内容の充実に景観まちづくり学習を活用することもできるのです。

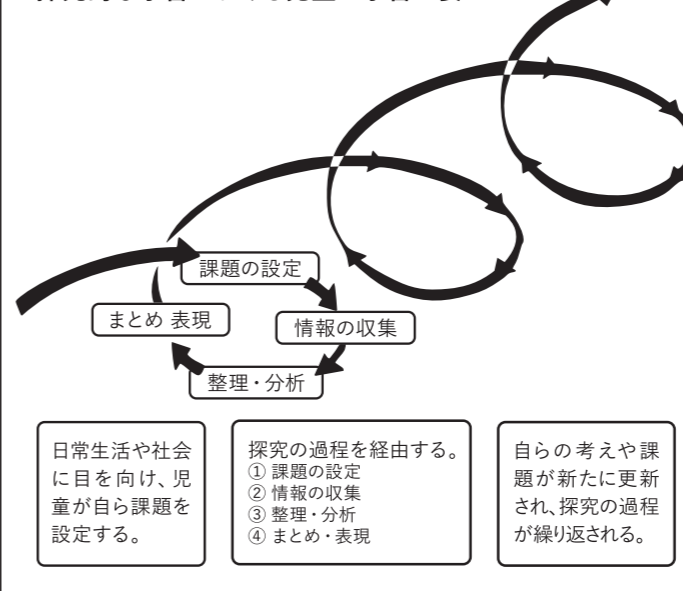


「学校における景観まちづくり学習の手引き」より

文部科学省

学習指導要領による『「生きる力」に欠かすことができない「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考えを主体的に判断し行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」』の育成が重視されています。

探究的な学習における児童の学習の姿



①課題の設定 ②情報の収集

景観アドバイザーの講義により、景観の知識を身に付けたのちに、あらためて自分のまちを見て歩くことで、好きな景観や気になる景観、嫌いな景観などを見つける。

③整理・分析 ④まとめ・表現

好きな景観はどのような理由で好きなのか、気になる景観はどのような理由があってそこにあるのか、嫌いな景観は何が原因なのか、それを改善するためには何をすれば良いかなどを考えること、また言語化し、考えたことをまとめ、発表する。

景観について関心を持つことで、これまで気にしていなかった場所でも、この景観はどうすれば良くなるかなどを自ら考え、行動につながることを期待されます。(ゴミ拾い→花植え→壊れかけた看板の撤去(自治体へのお願い)など)。



景観学習

の
ススメ

児童たちと一緒に学ぶという観点で
さまざまな景観を探してみませんか。

何でもご相談ください

青森県県土整備部都市計画課 都市計画・景観グループ

TEL.017-734-9681

keikan@pref.aomori.lg.jp